安全データシート

1. 製品及び会社情報　追記

販売会社名	：株式会社理研グリーン
住所	：東京都台東区東上野四丁目8番1号
担当部門	：開発部企画開発課
電話番号	：03－6802－8587
FAX 番号	：03－6802－8303
推奨用途及び使用上の制限	：農薬

本製品に関するその他の情報については、次ページ以降を参照してください。

作成日：　2012年6月26日
改定日：　2022年9月15日

安全データシート

1．化学品及び会社情報

化学品の名称	ワイドウェイZ粒剤
提供者の会社名	保土谷アグロテック株式会社
住所	〒105-0021　東京都港区東新橋1-9-2
担当部門	研究開発部
電話番号	03-6852-0510
ＦＡＸ番号	03-6274-5839
電子メールアドレス	info@hodogaya-agrotech.co.jp
緊急連絡電話番号	03-6852-0510
推奨用途及び使用上の制限	農薬（除草剤）以外の使用は不可

2．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類区分

物理化学的危険性	-	
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分に該当しない
	急性毒性（経皮）	区分に該当しない
	皮膚腐食性・刺激性	区分に該当しない
	眼刺激性	区分2B
	皮膚感作性	区分に該当しない
	生殖細胞変異原生	区分2
	発がん性（結晶質シリカ）	区分1A
	特定標的臓器毒性（単回暴露）	区分1（呼吸器系）
	特定標的臓器毒性（反復暴露）	区分1（呼吸器系、免疫系、腎臓）
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）	区分1
	水生環境有害性（慢性）	区分2

上記で記載がない危険有害性は、「区分に該当しない」か「分類できない」

ＧＨＳラベル要素

絵表示

注意喚起語	危険
危険有害性情報	H320　眼刺激 H341　遺伝性疾患のおそれの疑い H350　発がんのおそれ H370　臓器（呼吸器系）の障害 H372　長期または反復暴露による臓器（呼吸器系、免疫系、腎臓）の障害 H400　水生生物に非常に強い毒性 H411　長期継続的影響により水生生物に毒性
注意書き	
［安全対策］	使用前にすべての安全説明書を入手し、読み、従うこと(P203) 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。（P261） 取り扱い後は手を良く洗うこと。(P264) この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。(P270) 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。（P280） 環境への放出を避けること。(P273)
［応急措置］	暴露または暴露の懸念がある場合：すぐの救急の医療処置を受けること(P308+P316) 気分が悪い時は、診察を受けること(P319) 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。 次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338) 眼の刺激が続く場合：医療処置を受けること。(P337+P317) 漏出物を回収すること。(P391)
［保管］	施錠して保管すること。(P405)
［廃棄］	内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に業務委託すること(P501)

3．組成および成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	有効成分 2-（4-クロロ-6-エチルアミノ-1,3,5-トリアジン-2-イルアミノ）-2-メチルプロピオノニトリル（一般名：シアナジン） 1-（5-tert-ブチル-1,3,4-チアジアゾール-2-イル）-1,3-ジメチル尿素（一般名：テブチウロン） 2，6-ジクロロベンゾニトリル（一般名：DBN） 3-（3,4-ジクロロフェニル）-1,1-ジメチル尿素（一般名：DCMU）

成分及び含有量

成分	含有量	官報公示整理番号		CAS番号
		化審法番号	安衛法番号	
シアナジン	2.0%	-	8-(3)-498	21725-46-2
テブチウロン	0.8%	(5)-5242		34014-18-1
ＤＢＮ	2.0%	(3)-4103	4-(7)-477	1194-65-6
ＤＣＭＵ	4.0%	(3)-2194	4-(13)-2	330-54-1
鉱物質微粉等	91.2%			
（結晶質シリカ　43%以下）		(1)-548		14808-60-7

4．応急措置

吸入した場合　被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
直ちに医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合　触れた部分を多量の水と石鹸で良く洗う。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。

目に入った場合　この製品が眼に入った場合、水で数分間注意深く洗い入った製品を洗い流すこと。
次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合　水でよく口の中を洗浄する。気分が悪い時は直ちに医師の診断手当てを受ける。

5．火災時の措置

適切な消火剤　初期火災には水、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。

使ってはならない消火剤　棒状注水（本製品が環境中に流出し、環境や生物に悪影響を生ずるおそれがある）

火災時の特有の危険有害性　有害な煙を放出する可能性がある。

特有の危険有害性　危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火作業は風上から行う。
消火のための放水等により、本製品が環境中に流出しないよう適切な処置を行う。

特有の消火方法　消火作業は風上から行い、火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
消火のための放水等により環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予備措置　適切な空気呼吸器、保護具を着用して作業を行う。

6．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置　室内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。
詳細については、第8項の「ばく露制御・個人保護」を参照すること。

環境に対する注意事項　流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材　漏出したものをすくいとり、または掃き集めてドラム缶等に回収する。
廃棄は内容物・容器を都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に業務委託すること。

二次災害の防止策　排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7．取扱い及び保管上の注意

取扱い　眼、皮膚、衣類につけないこと。
換気の良い場所で取り扱う。適切な保護具（保護衣、保護眼鏡、保護手袋保護衣等）を着用する。
作業後は、手、顔などを良く洗う。

保管　直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。食物、飼料等と離し、関係のない者や子供の手の届かない所に保管する。

8．ばく露防止及び保護措置

設備対策　局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに、目の洗浄および身体洗浄のための設備を設置する。

保護具
- 呼吸用保護具　適切な呼吸用保護具を着用する。
- 手の保護具　適切な保護手袋を着用する。
- 眼、顔面の保護具　適切な保護眼鏡を着用する。
- 皮膚及び身体の保護具　適切な保護衣を着用する。
- 衛生対策　この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしない。
取扱後は速やかに眼、手、顔を洗う。

9．物理的及び化学的性質

物理状態	細粒
色	類白色
臭い	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	8
動粘性率	データなし
比重：	0.87

溶解性	データなし
n-ｵｸﾀﾉｰﾙ／水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	データなし
化学的安定性	通常の貯蔵・取り扱いにおいて安定である。
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	直射日光、熱、高温
混触禁止物質	データなし
危険有害な分解生成物	燃焼により一酸化炭素、ハロゲン化合物系のガス等が発生する恐れがある。

11. 有害性情報

急性毒性	
	(経口) LD50：＞ 2000mg／kg (ラット) (区分に該当しない)
	(経皮) LD50：＞2000mg／kg (ラット) (区分に該当しない)
	(吸入) LC50：データなし (分類できない)
皮膚腐食性／刺激性	刺激性なし (ウサギ) (区分に該当しない)
眼に対する重篤な損傷／刺激性	極く軽度の刺激性 (ウサギ) (区分2B)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器感作性　データなし (分類できない)
	皮膚感作性　陰性 (モルモット) (区分に該当しない)
生殖細胞変異原生	混合物の成分の生殖細胞変異原生－区分2の濃度が1.0%以上のため 生殖細胞変異原生－区分2とした。
発がん性	混合物の成分の発がん性－区分1Aの濃度が0.1%以上のため発がん性－区分1Aとした。
生殖毒性	データなし (分類できない)
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	混合物の成分の特定標的臓器毒性 (単回暴露) －区分1 (呼吸器系) の 濃度が10%以上のため特定標的臓器毒性 (単回縛を) －区分1 (呼吸器系) とした。
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	混合物の成分の特定標的臓器毒性 (反復暴露) －区分1 (呼吸器系) の 濃度が10%以上のため特定標的臓器毒性 (反復暴露) －区分1 (呼吸器系) とした。 混合物の成分の特定標的臓器毒性 (反復暴露) －区分1 (腎臓) の 濃度が10%以上のため特定標的臓器毒性 (反復暴露) －区分1 (腎臓) とした。 混合物の成分の特定標的臓器毒性 (反復暴露) －区分1 (免疫系) の 濃度が10%以上のため特定標的臓器毒性 (反復暴露) －区分1 (免疫系) とした。
誤えん有害性	データなし (分類できない)

12. 環境影響情報

環境有害性	
水生環境有害性 (急性)：	緑藻類の毒性データにより区分1とした。
水生環境有害性 (長期間)：	慢性区分1と慢性区分2に分類される成分について単純加算法を用いて成分合計を算出した結果、 25%以上となるので区分2とした。
生態毒性	魚類 (コイ)　LC50 (96hr)　320mg／L
	甲殻類 (オオミジンコ)　EC50 (48hr)　110mg／L
	藻類 (緑藻)　EbC50 (0h-72h)　0.099mg/L
残留性・分解性	データなし
生態蓄積性	データなし
土壌中への移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

13. 廃棄上の注意

化学品 (残余廃棄物)	空容器を廃棄する場合は、内容物を使いきった後に適切に処理する。 都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
汚染容器及び包装	容器は3回以上洗浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治基準に従って 適切に処分を行う。 容器の洗浄水は河川等には流さずタンクにいれて残余廃棄物として処理する。

14. 輸送上の注意

特別な安全対策	容器の破損、漏れがないことを確かめる。荷崩れ防止を確実に行う。 転倒、落下、破損がないよう積み込む。

15. 適用法令

農薬取締法	農薬登録番号 22184
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当
労働安全衛生法	

名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9）
DCMU：政令番号249
結晶質シリカ：政令番号165-2
名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令18条の2第1号、第2号別表第9）
DCMU：政令番号249
結晶質シリカ：政令番号165-2
化学物質排出把握管理促進法（化管法）
シアナジン：第1種　政令番号1-091
ＤＢＮ：第1種　政令番号1-184
ＤＣＭＵ：第1種　政令番号1-169
2023年4月1日以降　該当
シアナジン：管理番号91　第1種　政令番号1-116
DBN：管理番号184　第一種　政令番号1-211
DCMU：管理番号169　第一種　政令番号1-197

16．その他の情報

記載内容の問合せ
会社名　保土谷アグロテック㈱
担当部門　研究開発部
電話番号　03-5299-8225
ＦＡＸ番号　03-5299-8284

急性中毒に関する緊急の問合せ先
公益財団法人　日本中毒情報センター（事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る）
中毒１１０番　一般市民専用電話
（大阪）　072-727-2499（情報料無料）
365日24時間対応
（つくば）029-852-9999（情報料無料）
365日9～21時間対応
医療機関専用有料電話
（大阪）　072-726-9923（1件2000円）
365日24時間対応
（つくば）029-851-9999（1件2000円）
365日9～21時間対応

免責事項　当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・関節を問わず一切負わない。当該シートは本製品のみに使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。